



奥本隆一 議員

「中学校給食」実施に向けた進捗状況について

問 平成26年度に施設建設を目指す中学校給食。建設に伴う「基本設計」については、コンサルタント会社に発注されたのか。

また、給食の実施時期は今の中学一年生が三年生に進級する平成27年4月からと考えてよいのか。

松井教育長 過日の議員との懇談会において、「基本設計」をコンサルタントにと申し上げたところですが、現在、中学校給食運営委員会と議会にお示しする資料作成をコンサルタント会社に発注するべく準備を進めている。

なお、給食の実施時期につきましては、議員のおっしゃるとおり、平成27年4月からのスタートを予定している。

中央公民館にエレベーターの設置を!!

問 「たかが2階、されど2階」健全者にとつては、2階程度の階段はさほど苦にもならないが、高齢者や障がい者の方たちにとつては、非常につらく厳しいものである。

中央公民館は、クラブ活動や会議などで多数の方々が2階を利用される公の施設である。

バリアフリー新法などの法整備で施設の改善が進みつつある今日、社会的弱者の方たちにも配慮したエレベーターの設置が不可欠と考えるがどうか。

山村町長 エレベーターの設置となると、単にエレベーターの設置にとどまらず、設置するための現存施設の大規模な改修も必要となる。

築後約40年が経過し老朽化が進んでいるので、(仮称)歴史資料館を整備する際に、公民館機能も備えた複合施設とすることも検討している。

総合的な計画のもとに、議会とも協議をし、方針を決定したい。



坂口友良 議員

平成24年度の滞納金3億6千万円をどう集める

問 今回、山村体制が発足したが、前町長時代に町税等の未収金を3億6千万円残している。処理もできず前町長は退職してしまつたが、大変大きな金額である。後を引き継いだのが新町長であるが、この対策は最優先で進めるべきと思うが、考えはどうか。

山村町長 自主財源確保に向けて鋭意努力している。滞納者に対しては再三の交渉を重ね、財産調査を実施のうえ、改善のされない滞納者に対しては滞納処分を実施し、債権回収に努めている。今後も滞納者の解消に向け、より一層の努力をしていく。

障がい福祉計画、生涯住まいをどう進めていくかを問う

問 療育手帳所有者が増えてきた。西和養護学校卒業生も急増してくるので、受け入れ体制も地域で急がれている。生涯住まいは、今までの措置

時代から全て町外に住まわせた。しかし、今は国も生まれ育った地域で暮らしていくよう入所中心からグループホームで地域で生涯を過ごす方向へと転換してきた。今後どう進めていくのかを問う。

山村町長 居住系のサービスは、自宅に代わる日常生活を送る場所を提供するサービスと位置づけられる。今後も、住み慣れた地域で長く暮らしていただけるよう、町が責任を持つて福祉サービスの向上に努め、支援していく。

新住民の増加とまちづくり体制の充実策は

問 馬見南3丁目の新規分譲地も計画的に建設が進み、新しいまちづくりとして期待が持てる。税収も増えている。本町は教育都市として近隣でも名が通っている。まちづくりは住民減になると大変むずかしくなる。引越すなら広陵町と言ってもらえる体制を町はどう考えるか。

山村町長 町民税については、納税義務者の増加により若干の伸びを見せている。教育については、施設・設備の充実是他町に先駆けて進めている。中学校給食の実現は当然のことであるが、特色のある教育活動の推進が求められている。